

サポート

No. 155

平成30年10月4日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

第17回 秋田県特別支援学校 総合体育大会

今年で17回目となる秋田県特別支援学校総合体育大会が、9月21日（金）に秋田市の秋田スポーツゾーン、雄和体育館、あきた総合支援エリア体育館で開催されました。県内の特別支援学校15校、中学校13校から、総勢1136名が参加しました。今大会のテーマは「つなげよう 心をひとつに チームの輪」です。各校とも日頃の練習の成果を発揮し、テーマにふさわしい熱戦を繰り広げました。団体競技の結果を報告します。

| | | | |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 綱引 | 小・中学部 | 1位 大曲支援学校 | 2位 栗田支援学校 |
| | 高等部 | 1位 稲川支援学校 | 2位 比内支援学校 |
| バスケットボール | 男子 | 1位 栗田支援学校 | 2位 能代支援学校 |
| | 女子 | 1位 比内支援学校 | 2位 ゆり支援学校 |
| ネオホッケー | 小・中学部 | 1位 天王みどり学園 | 2位 横手支援学校 |
| | 高等部 | 1位 比内支援学校 | 2位 横手支援学校 |
| グラウンドゴルフ | 小・中学部 | 1位 由利本荘合同 | 2位 象潟中学校 |
| | 高等部 | 1位 大曲支援学校せんぼく校 | 2位 ゆり支援学校 |
| ピン倒しボール | 小学部 1位 能代支援学校E | 中学部 1位 栗田支援学校F | 高等部 1位 栗田支援学校A |
| サッカー | 1位 栗田支援学校 | | 2位 能代支援学校 |
| ポッチャ | OP小・中 | 1位 比内支援学校かつの校 | 2位 栗田支援学校 |
| | OP高 | 1位 栗田支援学校A | 2位 天王みどり学園 |
| | 車イス | 1位 きらり支援学校E | 2位 きらり支援学校A |

開会式の様子



【大会旗】



【ポスター・
キャッチフレーズ表彰】



【優勝杯返還】



【選手宣誓】

ボッチャ交流～県南～

秋田県立横手支援学校 教頭 近田 浩司

8月30日、横手市立横手北中学校1年生（103名）と本校中学部生徒（28名）との「ボッチャ」による交流会が行われた。大きな体育館と大人数に戸惑い気味の本校生徒を横手北中生は温かく迎えてくれた。横手北中4人、本校2人を基本としてチームを編制し競技を行ったが、チーム内で声を掛け合ったり、1投ごとに歓声が上がったりするなど双方にとってかけがえのない体験ができたと実感している。新聞等にも紹介されたが、閉会式では、本校生徒から「普段会えないたくさんの人と話ができて、一緒に楽しめてよかった」、横手北中生から「最初はうまく接することができるか不安だったけれど、笑顔で声を掛けたり、一緒に喜んだりすることができた」と感想が発表された。別れ際に本校生徒が作業学習で制作したキーホルダーをプレゼントし、握手やハイタッチをするなど充実感に満ちた姿が印象的であった。今回の障害者理解推進事業を通して、共にスポーツをする楽しさを十分に味わうことができ、生徒同士の交流が深まるなど両校にとって得るものが大きく、貴重な機会を得たことをとてもありがたく思っている。

ボッチャの交流会は2時間程度だったが、ここに至るまで6月には教育専門監による出前授業を行い、横手北中生が車椅子の体験をすることなどを通して多様性を認め合う障害者理解について深めることができた。また、各校の代表委員によるボッチャ体験を通して「誰でも楽しめるルール」を検討した。さらに、名刺交換やビデオによる自己紹介を行い、段階的にチーム内の生徒同士の交流が深まるように工夫した。

事後の活動として、感想等の交換やアンケートを行った。ボッチャによる交流は、両校で来年度以降も継続していくことを確認しているが、生徒同士の心の交流・繋がりが自然な形で一層深まればと願っているところである。



横手北中学校での出前授業



両校の代表委員による交流



英国在外教育施設の紹介

ロンドン在外教育施設
教諭 江川 悠介

どこに配属されるか分からず、英国と聞いた時には驚きました。渡英前から続くテロ事件。渡英後はすぐにEU離脱が決まり、街でラーメンと餃子を注文すると3500円もかかる状態です。緯度が高く夏場は夜10時まで明るいですが、冬場は昼3時にもなると暗くなり、慣れない生活の中で、初めて担任する小学1年生との毎日に追われる日々でした。

私は3年間小学部1年生を担当しました。EU離脱の影響で、転出入児童が増え、昨年度は30名スタートの学級でしたが、22名が転出し、14名が転入するという状況で、4月当初の学級とは雰囲気も運営の仕方も全く違うもので苦勞しました。本校は私立の学校で、正式な校名には「有限会社」が付きます。独自の教育課程があり、小学1年生の4月から、毎日6時間授業で英語も週3時間設定されています。年間行事も盛りだくさんです。1学期のある週は「水曜日がバスに乗ってプールへ水泳学習、金曜日に近くの公園へ校外学習、土曜日に運動会」と、振り返りをするヒマもない一週間でした。子どもたちの中には疲れて、発熱する子も見られます。日本の学校を見習い、子どもたちに負担の少ない行事を設定するための改革が必要だと強く感じました。そんな中、日本にも増えればいいなと思う行事もありました。近隣小学校との「現地校交流」です。転入したばかりで英語が不安な児童も、半日英国人とともに活動するので、会話せざるを得ません。ジェスチャーを使ったり指さしたり、知っている単語を羅列したりと、まさにサバイバルイングリッシュの力が身につく活動です。

任期は残り半年となる見込みですが、引き続き、英国の特別支援学校やリハビリテーション施設を訪問し、「秋田に持ち帰りたい発見」を一つでも多く探したいです。



現地校交流の様子



校門前の桜の花

おめでとうございます

「平成30年度秋田県学校関係緑化コンクール」において、次の学校が受賞しました。おめでとうございます。

【学校環境緑化の部】

- 「知事賞」 県立大曲支援学校
- 「東北森林管理局長賞」 県立比内支援学校かづの校
- 「県教育委員会教育長賞」 県立比内支援学校たかのす校
- 「県森林組合連合会会長賞」 県立比内支援学校
- 「秋田県森と水の協会会長賞」 県立支援学校天王みどり学園

【学校林等活動の部】

- 「県教育委員会教育長賞」 県立能代支援学校